

## 平成 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもサミット in 信州
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 日本チェルノブイリ連帯基金 (松本市浅間温泉 2-12-12 Tel:0263-46-4218)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,070,144 円 (うち支援金 426,000 円)

### 事業内容

1. 福島の子ども達を長野県に招待し、自然の中でリフレッシュしてもらった。
2. 「子どもサミット」を開催し、経験の発表から、助け合いや相互理解の学習の場とした。
3. 地元の信州大学の学生による「放射線の基礎知識」出前講座を行った。
4. 学生や一般市民と手作り昼食をとりながら、交流を行った。
5. 長野県下で保養事業を行っている団体間のネットワーク化を図った。



### 事業効果

1. 福島県郡山市、福島市などから、計 33 名の親子がリフレッシュ保養に参加し、松本市アルプス公園と隣接している青年の家で過ごした。
2. 地元信州大学理学部の学生が出前講座として、「放射線の基礎知識」を福島と地元一般市民約 70 名に伝えた。
3. 「子どもサミット」に JCF 鎌田理事長と阿部長野県知事が参加し、福島の子ども達をめぐって起きている問題について県と市民活動団体とで協働して取り組める課題について話し合った。

※1 自己評価(事業実施率)【 A 】

#### 【目標・ねらい】

- 福島の子ども達のリフレッシュ
- 地元の学生や市民との交流
- 「子どもサミット」の開催
- 地元学生による放射能基礎講座

### 今後の取り組み

※2 自己評価(事業効果)【 C 】

子ども達を放射線災禍から守るためにリフレッシュは継続して取り組んでいかなければならないと考える。今後は、文化・スポーツ交流などテーマ別に子ども達や青少年交流を図っていくこととする。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

※1 自己評価(事業実施率)欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価(事業効果)欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある